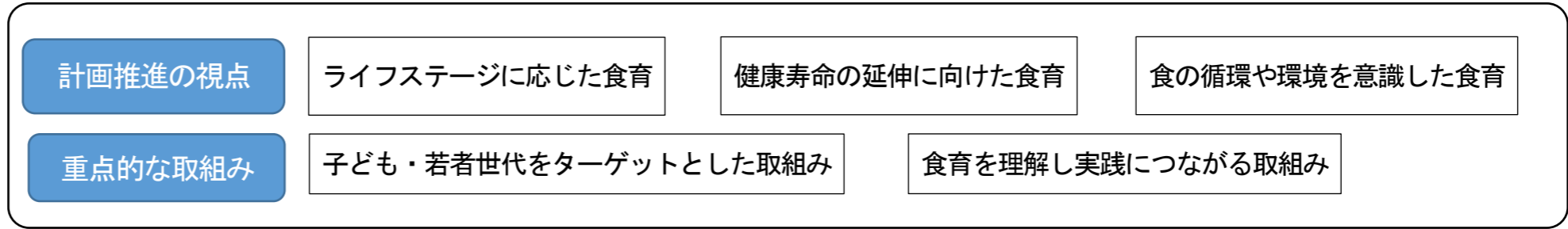


第3期富山県食育推進計画の進捗状況の概要

＜基本目標＞
～県民が生涯にわたり健康で豊かな生活を送る～

【これまでの経過】

- H17.6 食育基本法制定
- H17.9 富山県食育推進会議
(全国に先駆けて条例で設置、会長：知事)
- H18～H22年度 富山県食育推進計画 (第1期)
- H24～H28年度 富山県食育推進計画 (第2期)
- H29～R3年度 富山県食育推進計画 (第3期)



推進施策	現計画期間中 (H29～) の実績の概要	目標指標の状況	2期策定時 H22	3期策定時 H28	前年度 R1	現状 R2	目標 R3
I 富山の「食」に着目した食育の推進							
1 食育県民運動の展開							
◇食育推進運動の充実 ◇食育推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・とやま食育推進フォーラムを開催 (年1回) ・食生活改善チェックシート (6種類) を活用する等、<u>富山型食生活モデルメニュー</u>や<u>富山の郷土料理</u>を、<u>食育リーダー等の活動や各種イベント</u>を通じて普及・PR ・「栄養の日(8/4)・栄養週間(8/1-8/7)」を中心として<u>栄養バランスの良い食生活</u>を普及啓発 ・地域食育推進体制強化事業の推進：各厚生センターによる関連教材の貸出し (延べ255回)、出前イベント (延べ15回)、食育連絡会、研修会の実施 ・<u>食育リーダー (栄養士等55人・団体が登録)</u> の研修(年2回)及び地域の講演会・研修会に派遣 (延べ277回) ・マスメディアを活用した富山県食育推進計画の普及・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○「食育」に関心がある県民(成人) ○カロリーやバランスを考えて食事をする県民 (成人) ○富山型食生活を実践している県民 (成人) <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯を1日に1回以上食べる ・野菜を1日に350g (小鉢5皿程度) 取る ・魚介類を1日に1回以上取る 	94.1%	91.2%	92.0%	94.6%	95%以上
			31.2%	54.6%	61.4%	57.0%	60%以上
			98.5%	93.9%	} 県民健康栄養調査 (概ね5年ごとに実施) R3 調査実施予定		100%
			30.7%	26.7%		50%以上	
			67.3%	68.4%			80%以上
2 地産地消の推進や生産者と消費者の交流							
◇生産・供給体制の強化 ◇新たな県産品の活用 ◇生産者と消費者の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地場農産物の生産拡大支援と、HP等での直売所・インショップの紹介 ・「とやまの旬の応援団」の募集・登録 (R3.3現在：7,024個人・団体)・活動支援 ・県産品の優先選択につなげる「<u>県産品購入ポイント制度</u>」実施 (R2：応募数30,064件) ・地場産品を活用した新商品の開発や直売等に取り組む農村女性の起業活動を支援 (R2：女性起業件数190) ・「越中とやま食の王国フェスタ」で富山の食材や越中料理を紹介 ・子どもや地域住民を対象とした<u>農林漁業体験や地場産食材を活用した料理教室の開催</u> (5市町村で延べ28回、参加者1,261人) ・水産業への理解醸成に向けた高校生等への<u>魚食セミナーの開催</u> (R2：1回)、県内小学5年生への副読本の配布、学校給食への魚の提供 (18万9千食) 	<ul style="list-style-type: none"> ○県産食材 (野菜・いも類) 産出額 ○直売所・インショップ販売額 ○「地産地消『とやまの旬』応援団」登録数 ○農林漁業体験者数 	53億円	64億円	(H30) 61億円	(R1) 59億円	79億円以上
			20.8億円	35.1億円	35.6億円	38.2億円	45億円以上
			2,106	4,458	5,907	7,024	6,500以上
			42,300人	58,877人	(H30) 68,199人	(R1) 70,005人	64,500人以上
3 魅力ある食文化の継承・創造							
◇富山の伝統的な食文化の伝承 ◇新たな食文化の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・「<u>とやま食の匠</u>」の登録 (R3.3現在 167個人・団体：特産の匠69、伝承の匠53、創作の匠45) ・「三世代ふれあいクッキングセミナー」を開催 (延べ214回実施、延べ7,685人参加) ・<u>富山県ふるさと認証食品の認証とPR (累計認証数 (R3.3現在)：39品目・355商品)</u> ・地域の農林水産物を活用した加工・直売等の6次産業化の取組みを支援 (R2：5件) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「とやま食の匠」派遣回数 ○「富山県ふるさと認証食品」数 	—	40回	30回	※ 2回	60回以上
			288商品	313商品	348商品	355商品	350商品以上

※コロナ禍の影響が大きいと考えられるもの

推進施策		現計画期間中(H29～)の実績の概要		目標指標の状況		2期策定時 H22	3期策定時 H28	前年度 R1	現状 R2	目標 R3
Ⅱ ライフステージに応じた健康増進につながる食育の推進										
1 子どもに対する食育の推進				○朝食を欠食する子どもの割合 (小学校5年生) (中学校2年生)		0.8% 1.9%	0.8% 2.0%	0.9% 2.2%	1.1% 2.3%	限りなくゼロ に近づける
◇望ましい食習慣の形成に向けた普及啓発	・「食育ランチマット」やカレンダーの活用により、 朝ごはんの大切さを啓発	・「とやまゲンキッズ作戦 健康づくりノート」を活用した、 子どもの望ましい生活リズムや食習慣の形成 に向けた啓発	・「とやま子育て応援団」制度(協賛店舗数2,098)の推進による、 「家族そろっての食事」 の普及・啓発	○学校給食における県産食材の利用量※ ※野菜、果実、きのこ・山菜類等の集計		328 t 12.6%	510 t 21.3%	※ 534 t 26.0%	※ 486 t 25.1%	700 t 以上
◇家庭で楽しい食生活の実践と支援	・「家庭教育かわら版」による、家族そろっての健全な食生活実現の普及啓発(年少児から小学2年生までの子どもの保護者に5万部配布)	・ 子育て世代を対象とした食育講座への食育リーダー派遣 等により、家庭内での望ましい食習慣の形成を推進	・ 栄養教諭を増員(H29:32人→R3:53人) し、 農業体験や生産者との会食、学校給食への県産食材の活用拡大に向けた体制整備 、教科や給食時間における指導の充実等により、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施	○朝食を欠食する若者の割合 (20歳代) (30歳代)		5.4% 5.2%	11.4% 3.8%	} 県民健康栄養調査 (概ね5年ごとに実施) R3調査実施予定	(R1) 91.8%	5%以下 〃
◇家庭・地域等と連携した食育の推進	・ 子育て世代を対象とした食育講座への食育リーダー派遣 等により、家庭内での望ましい食習慣の形成を推進	・ 栄養教諭を増員(H29:32人→R3:53人) し、 農業体験や生産者との会食、学校給食への県産食材の活用拡大に向けた体制整備 、教科や給食時間における指導の充実等により、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施	・ 栄養教諭を増員(H29:32人→R3:53人) し、 農業体験や生産者との会食、学校給食への県産食材の活用拡大に向けた体制整備 、教科や給食時間における指導の充実等により、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施	○家族で朝食また夕食を取る県民(成人)		89.8%	91.8%			91.8%
◇豊かな農林水産資源を生かした食の体験、学校給食の推進	・地場産野菜・果実を活用した特別給食を実施(R2:103品目、256校)	・富山県の農業と食文化等を紹介する小学4年生向けの副読本の活用		○脂肪から摂取するエネルギー比率 (20歳代) (30歳代)		28.0% 26.6%	28.3% 27.1%	} 県民健康栄養調査 (概ね5年ごとに実施) R3調査実施予定	(R1) 91.8%	20%以上 30%未満
2 若者世代に対する食育の推進				○食塩の1日当たりの摂取量 (男性) (女性)		12.2 g 10.5 g	11.0 g 9.1 g			
◇健全な食生活や生活習慣の確立に向けた食育の推進	・若者世代を対象とした食育実践活動の実施(食育講座や調理体験等の開催 延べ27回、614人参加)	・若者世代の食育への意識を高める「とやま食育アプリ・アイデアコンテスト」を開催(R1:応募数27点)	・栄養バランスのとれた健康的な食習慣の啓発に向けた「 若い世代の食育実践ガイド 」を作成(R2)	○肥満者(20～60歳代男性)		32.6%	29.5%		25%以下	
◇健康寿命延伸に向けた食育の推進	・食生活改善チェックシートを活用した食育リーダー等による普及や、イベントでの啓発	・ 「野菜をもう一皿!食べようキャンペーン」の実施 (小売店等の協力による普及啓発)(R2:協力店669店)		○低体重者(20～30歳代女性)		18.4%	23.1%		15%以下	
◇豊かな農林水産資源を生かした食の体験の推進〔再掲〕				3 働き盛り世代・高齢者に対する食育の推進						
◇健康寿命延伸に向けた食育の推進	・バランスアップ健康プロジェクトの実施: 民間の社員食堂等と連携 し、メニュー改善に向けた取組みを実施	・野菜たっぷり、減塩、シニア向けのメニューを提供する「 健康寿命日本一応援店 」の募集(R2:263店舗)	・高齢者を対象とした、食と健康や正しい食習慣に関する食育講座に講師を派遣	○食品表示が適正な店舗						
◇地域全体で食育に取り組む体制の充実	・地域住民対象の「元気とやま食生活改善クッキング」(R2:30回、811人)を開催	・ 第38回全国歯科保健大会(H29.11.11) の開催(テーマ:よく噛み、よく食べ、よく生きるー健康寿命延伸はお口からー 参加者:約1200名)		○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合		95.2%	97.7%	96.7%	97.4%	100%
Ⅲ 食の安全・安心や食の循環を意識した食育の推進										
1 食の安全確保の推進				○食品表示が適正な店舗		95.2%	97.7%	96.7%	97.4%	100%
◇食に関する情報の理解促進	・ 食品安全フォーラムの開催 (R2テーマ:「正しく理解しよう!健康食品」 参加者66名)	・「食の王国フェスタ」に食品安全関連ブースを出展、「とやまポーク応援フェア」の開催	・食の安全・安心ホームページの運営(食品安全や表示等に関する情報提供)	○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合						
◇安全な農林水産物等の供給	・食品表示講習会の開催(4回)、研修会等への講師派遣等により、食品関連事業者等への適正な食品表示を指導	・ 「食品表示ウォッチャー」による食品表示実態調査の実施		○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合						
2 食の循環や環境を意識した食育の推進				○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合		—	62.9%	80.9%	81.3%	80%以上
◇食品ロス等の発生を減らす食生活の推進	・ 第4回食品ロス削減全国大会(R2.12月) において、商習慣の見直しなど食品ロス削減に向けた取組みを啓発	・ 「食べきり3015運動」協力店 及び 「食べきりサイズメニュー」導入店 を通じた食品ロス削減の県民への周知	・ 食品ロスモニター調査 の実施(611世帯参加)、手付かず食品を活用した料理写真の募集・紹介(133名応募)R1	○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合						
◇自然環境や食べ物を大切にす る心の醸成	・富山県食品ロス削減推進計画ハンドブック、商慣習見直し事例集、子ども向けパンフレットの作成	・サルベージ・パーティの講師として活動する「 サルベージ・サポーター 」の認定(28名)	・ フードドライブ (余っている食品を集め、必要としている福祉団体等に寄付する活動)の推進	○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合						
	・食品ロス削減のための啓発用テレビCMの制作・放映(放映期間:10月30日～3月)	・小学校での食品ロス学習(10歳児対象、R2:63校、2,710人)		○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合						

※コロナ禍の影響が大きいと考えられるもの